

## 震災時における児童生徒の安全確保等の暫定指針 子どもたちの安全について確認しましょう

さいたま市では東日本大震災で明らかになった、児童生徒の安全確保等の諸課題を解決するため、平成23年4月に「東日本大震災における児童生徒の安全確保等検証委員会」を設立した。

その検証結果を「震災時における児童生徒の安全確保等の暫定指針」にまとめた。この暫定指針には、予め想定された状況で地震が発生した場合の、児童生徒及び教職員の行動マニュアルが明示されている。保護者である我々は、この暫定指針を理解し迅速に対応することが大切である。そこで暫定指針から特に重要と思われる部分を抜粋して掲載した。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から、間もなく一年。是非ご家族で、震災時にどうするのかを話し合い確認しましょう。

### 「学校における防災計画」の見直し

「学校における防災計画」の見直しにおいては、大地震発生時における、想定場面ごとの「行動マニュアル」を加える。

「交通遮断し帰宅困難者が発生する」「電話などの通信手段が断たれる」など、今回の大震災における状況の経験から、場面ごとに「行動マニュアル」を加えるものとする。

### 地震発生時の児童生徒の安全確保及び避難

地震の際には、落下物、転倒物からの危険を回避し、安全確保をする。そのために、日常的に、避難経路の確認や落下、転倒防止に向けた安全点検の徹底をする。避難の際は、避難経路の安全を確認し、複数の教職員で誘導する。

### 保護者への引渡し基準の明確化

さいたま市内のどこか1箇所でも「震度5弱以上」の地震の際、小学校、中学校ともに、保護者等への引渡しを行う。ただし、中学校では、保護者から事前に、引渡しするか、集団下校させるかの希望を聞いて対応する。

集団下校を希望していても、交通遮断や地域の被害状況等によっては、校長の判断で集団下校をさせないことができる。

なお、引渡しについては、事故や防犯上の理由から、保護者や「引渡しカード」に登録された人が児童生徒を引き取ることを認める。

### 休日等において地震が発生した際の児童生徒の安全確認

さいたま市内のどこか1箇所でも「震度5弱以上」の地震の際、教職員は、学校に参集する。学校において、児童生徒の安全を確認の上、教育委員会へ報告する。

### 学校に関する情報の伝達

学校に関する情報を、保護者に伝達する手段として、保護者の携帯電話へメール配信することなどを検討する。

教育委員会や各学校が保護者等に緊急に知らせたい情報を、一斉配信できる「学校情報メール配信システム」を構築した。

## 授業中



## グラツ ときたら、児童生徒は…

## 放課後・登下校時

- 机の下にもぐり、机の脚をしっかりと持つ
- 頭部を保護し、姿勢を低くする
- 危険性のあるものから離れる



### 地震発生

- ブロック塀や自動販売機から離れ、頭部を保護し、安全な場所に身を伏せる
- 交通機関を利用している場合は、乗務員等の指示に従う

### 安全確保

- 校庭等の安全な場所へ避難
- 頭部を保護しながら避難
- 「おかしも」の約束を守る



### 避難

- 近くの公園、空き地など安全な場所に避難する

- 学校か自宅か、近い方に避難する

- 負傷者がいる場合は助け合う



### 安全確認

[自宅]  
帰宅した場合は、できるだけ早く、学校へ連絡する

[学校]  
校庭等の安全な場所に避難する

- 保護者とともに帰宅する
- 保護者と連絡がつかない場合は、学校で待機させる

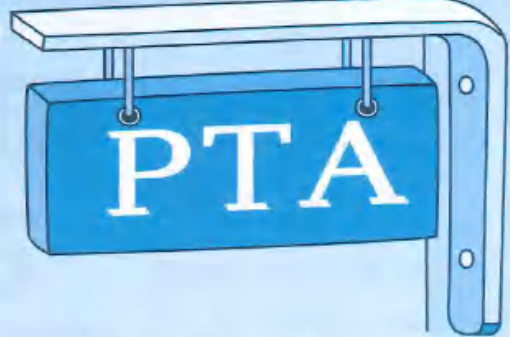


保護者へ連絡

### 保護者へ引渡

- 保護者とともに帰宅する
- 保護者と連絡がつかない場合は、学校で待機させる





# 5倍楽しむ方法

## 動を推進するためのヒント～

支援学校合わせて165校が連携するまでに大発展。  
も様々…。今回は、楽しく・効率的にPTA活動を推進するための工夫やヒントを探ってみました。

### PTAダイエットに成功!

**各事業** をサポートする「なでしこボランティア」を創設。ボランティア数を増やし活動を分散させ、全PTA会員対象に募集。  
[成果] 講演会参加、バザーお手伝いなどのボランティア数が増え、役員負担軽減に成功した。  
(浦和区・大原中学校)

### 新たに「すりむき」委員会を設置し、アンケートにより委員の仕事を見直し、組織を刷新した。

[成果] 委員数が大幅に引き受けの回数や仕事が軽減された。  
(桜区・大久保小学校)

### 体育祭

受付時の記録をなくし、リポンを付箋を貼る工夫を凝らして、着けてもらうようにした。  
[成果] スムーズな受付業務と、部外者の入校抑制を実現した。  
(桜区・田島中学校)

### 広報紙

再掲載について、毎回本人に承諾をとっていたが、掲載不可の家庭には年度初めに「再掲載希望届け」を提出してもらった。  
[成果] 確認作業がなくなり、編集作業が効率化した。  
(中央区・与野南中学校)

### 役員決めがスツキリ!

**過去** の役員選出日欠席や役員履歴など活動履歴を公開。  
[成果] 自主的に役員を引き受ける保護者が増え、役員決めがスムーズに進んだ。  
(浦和区・大原中学校)

### 役割

と仕事内容のわかるマニュアルを作成。運営委員会に同一の役割と権限を付与。情報交換の機会を増やすために役員運営委員会を設けた。  
[成果] 活動が活発かつスピーディーに。11月中旬に新役員が決まっちゃいました! (大宮区・大宮南小学校)

### 6学年

委員長の仕事から卒業式の運営まで1人1人役割を分担し、役員選出に納得するようになった。  
[成果] 6学年委員長のなり手がなくなり、役員決めに問題がなかったが、新学年を迎える前に選出できた。  
(大宮区・大成小学校)

### 各委員会

正副委員長を本部役員から任命することや、各委員会の互選とした。  
[成果] 本部からは、見守り隊として、サポートする担当を1名置いた。協力体制ができ、積極的になった。自分たちできえ、工夫して活動するPTAになった。  
(桜区・中島小学校)

### 委員

の選出方法を一律化しスムーズに行うためのポイントとして、立候補者がいない場合は持ち回りで決める。ポイントを決め、立候補者がいない場合は持ち回りで決める。ポイントを決め、立候補者がいない場合は持ち回りで決める。  
[成果] 役員選出時の時間短縮ができ、平等に行えるようになった。  
(中央区・与野南小学校)

### 活動費をみんなが増やしたよ

全員から理解と協力を得て、毎年学校公開日の後にお祭り開催し、地域の方にも参加・協力してもらった。  
[成果] バザーによる収益で子どもたちの新聞費用を捻出できた。  
(大宮区・大宮北小学校)

### 地域

の方をバザーと協賛の集いに招待し、昼食と歌謡の演奏を楽しんでいただく。  
[成果] 地域の方とコミュニケーションを円滑にとり、バザーの売り上げも高まった。  
(西区・大宮西小学校)

### バザー

の提供品が年々少なくなってきたので、地域の方や先生方、執行部OGにも協賛品提供の協力を求めた。  
[成果] バザーが盛り上がり売り上げがアップした。  
(西区・土庫中学校)

### 準備

が高まったのを機に効率的な収益事業を企画した。  
[成果] 活動のモチベーションが高まり資金稼ぎにもなり一挙両得。  
(緑区・鹿山小学校)



### 資源回収

の収益は、児童が身近に体験し、児童が理解され、回収率が上がり、トイレ掃除にも積極的に取り組むようになった。  
[成果] 児童自身が理解され、回収率が上がり、トイレ掃除にも積極的に取り組むようになった。  
(桜区・神田小学校)

### 卒業

で不要になった制服やジャージなどを提供してもらい、販売。収益は特別事業に使用。  
[成果] 活動費が地えることもよりサイクルへの意識が向上した。  
(中央区・与野西中学校)

### 絆を大切に!みんなと連携

**子ども** たちに学校で出来ない体験をさせるため、保護者・地域の方・スポーツ少年団関係者の方々に協力を要請した。  
[成果] キッズエリアを真似た社会体験・職業体験のブースを作り、体験型のイベントを開催出来た。  
(大宮区・上小小学校)

### 保護者OB

が学校とは独立した組織で、地域の方や各種団体にも協力を呼びかけ各種行事を主催。  
[成果] 焼き芋大会・ジャガイモ堀り・体育館のワッペンかけなどを行い、子どもたちと学校を応援していた。  
(大宮区・三橋小学校)

### 育成会

主催で小中学校・自治会が連携し、開校を祝うイベントを開催し、地域協力のもと掲示した。  
[成果] 登下校時、子どもや地域の人たちの挨拶が増えた。  
(南区・内谷中学校・沼影小学校)

### フェスティバル

(バザー) 時、催し物の備品が不足していたので、他校から備品をレンタルした。  
[成果] フェスティバル(バザー)が華やかになった。  
(南区・御前小学校)

### PTA

主催のお祭りに、先生方の協力をお願いし、出店していた。  
[成果] 先生方の協力を得て、お祭りが大盛況だった。  
(中央区・与野南小学校)

### 一斉メール

をお手紙配布確認で活用。思わぬ効果が! 学校からのプリント配布時に、一斉メールでプリント配布の催促を配る。  
[成果] 一斉メールを活用することで、プリントなどの印刷物の確認漏れがなくなり、学校と保護者の連携がスムーズになった。同時に子どもとの会話のきっかけにもなった。  
(桜区・上大久保中学校)

### 十五年

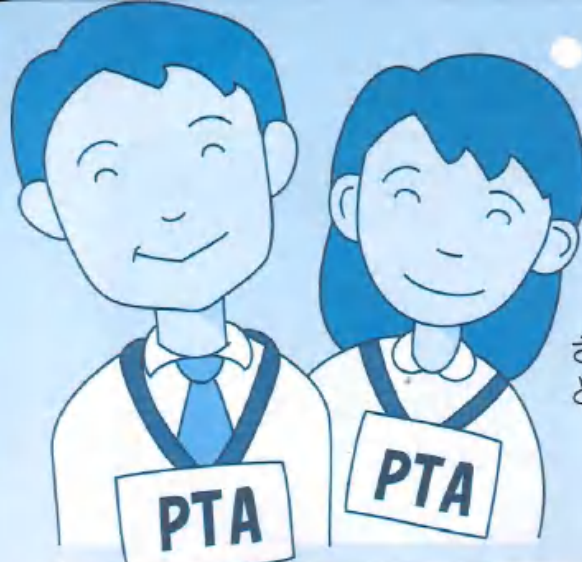
ぶりにバザーを復活。開催日を学校公開日の午後を設定して、各部・委員会・サークル等が出店・展示を実施した。  
[成果] 保護者・先生・地域の方との情報の共有、活動の達成感が得られた。  
(西区・指扇小学校)



# PTA活動を16

～楽しく・効率的にPTA活

さいたま市PTA協議会は発足から10年余。10区内の小・中・特別とはいえ、学校ごとに抱える課題や悩みは様々…。そして、その解決法



## お父さん出番です！

**昨年** から「おやじの会」を充足して活動を開始。活動参加人数を増やすために、保護者だけでなく先生方にも協力していた。

〔成果〕保護者と先生方とのランチ会を開催して、コミュニケーションを深めることができ、参加人数の増加につながった。  
(西区・指扇小学校)

## 資源回収

活動時には力仕事があるため、男性の協力者を増やすため依頼文を作成したり、直接声をかけを行ったりして、「おやじの会」への参加を強力に推進した。

〔成果〕時には女性を上回る男性の協力者が資源回収に参加するようになり、スピーディーでスムーズに活動できるようになった。  
(西区・高前小学校)

## お父さん

に学校への関心を持ってもらうために、「お父さん」にもPTA活動に参加してもらいたい、との想いで「オヤジの会」を設立し、お父さん参加



## 父親

向けに、親子除草・フェンスの修繕・運動会でのパトロール・しゃがみなどの種別指導等の活動への参加を募集した。

〔成果〕募集した活動内容が具体的にたつたので、理解・共感を得られ、父親の参加協力が増えた。さらに、参加者の発表により地産地消を盛り込んだ「防災イキキャン」を開催することができた。保護者のみならず教職員の方々も参加していただき、「おやじの会」の活動が大いに盛り上がりつつある。  
(南区・原山小学校)

## 安心安全が重要

### 防犯

の大切さを理解してもらおうために、防犯ボランティアを公募した。

〔成果〕登録者が増え学校の安全安心に貢献。(南区・大砂土東小学校)

### 運動会

の役員が担当しているが、仕事内容が不向きだったので、男性にお願いした。

〔成果〕校門に立つ男性保護者はやはり頼もしく、注意を聞き入れてもらえるようになり普偏が確かにもなった。  
(南区・南小学校)

### 学校警備員

が半日なり、独自の「はすネット」を立ち上げ、自分たちの子どもは自分たちで守るという考えに基づき、学校内外を保護者が交代でパトロールすることになった。

〔成果〕半日警備員体制になったことで、子どもたちが安心して学校生活を送っている。  
(南区・浦和小学校)



### 緊急連絡メール

を導入し、特に不審情報などで活用した。

〔成果〕緊急連絡の際、留守が多く連絡の行き違いが多発し不便を感じていた。緊急連絡メールを活用したおかげで一斉に配信できるようになり悩みを解決した。(南区・美園中学校)

## みんなあつまれ！仕組みづくり

### 一般会員

のお母さんで「1カ1回」を組織し、1回当たり約80名が参加。おやじの会と連携して学校内の清掃活動のお手伝いをしていく。

〔成果〕役員以外の一般会員の方が、PTA活動協力員として最低年1回は何かの活動に参加している。  
(大宮区・大宮南小学校)

### 全会員

に年1回のボランティア活動の協力をお願いした。

〔成果〕ヘルマーク活動と参観日を同日とすれば、活動に参加できる会員を増やすことができるのではと考えた。

〔成果〕PTA活動に参加する人数が大幅に増えた。  
(中央区・下落合小学校)

### 子ども

1人につき1回のお手伝い制度を導入して、全学年等のPTA活動参加を実現した。

〔成果〕PTA活動に対する不公平感がなくなるように、お父さんのお手伝いも見られるようになり、活動に参加する方が増えた。  
(南区・中尾小学校)

### ボランティア

が足りず本部や委員の負担が多くなっていった。そこで「ボランティア」制度を設



### 総会スタイル

を改革。開会、議事は30分で終了するように総会をスリム化。議事後は、担任紹介・子どもの手紙発表の場を設けた。

〔成果〕参加人数が5倍に増えて、内容もスリムになり席が不足するほど大盛況となった。  
(南区・尾間木小学校)

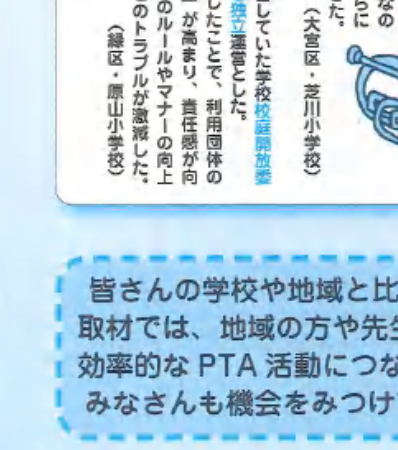
### 金管バンド

がなく寂しかったので、PTA会計から楽器購入、PやTの各家庭で眠っている楽器の提供を呼びかけた。

〔成果〕お金をあまりかけずに金管バンドが誕生した。みんなの協力も得られ、さらに団結力も確認できた。  
(大宮区・芝川小学校)

### 学校

が運営していた学校校庭開放を廃止し、自主運営することによって、利用団体の「借りている意識」が高まり、責任感が向上し、校内祭などのルールやマナーの向上とともに、近隣のトラブルが激減した。  
(南区・原山小学校)



皆さんの学校や地域と比べてみて、いかがでしたでしょうか？取材では、地域の方や先生方や多くの保護者・お父さんの出番が多いほど楽しく、効率的なPTA活動につながっている様子がうかがえました。みなさんも機会をみつけて、子どもたちの笑顔のために一歩踏み出してみませんか。

7月  
4日

### 役員セミナー

浦和コミュニティセンター  
参加：各校PTA役員約240名

市P協役員の紹介および桐瀬博教育長の講話。

「ゆめをもち、未来を切り拓く、さいたま市の子どものために」



8月  
20-21日

### 館岩少年自然の家 視察研修

参加：各区連合会代表46名

木段作りや除草などの施設内の環境整備と

児童生徒が「自然の教室」で実際行う活動を体験学習。



10月  
21-22日

### 関東ブロック研究大会 長野大会

長野市内  
参加：各区連合会代表44名

「信州につどいつらなる子育ての輪」～心豊かでのびのびと育つために～を大会スローガンに、日P関東ブロックのPTA会員約2000人が参加。

市P協は、第2分科会を担当。研究テーマは「家庭教育～子どもたちの『安全』を守るために、家庭の意識を高め関わりをあげよう～」発表は見沼小学校 鶴沢勇PTA会長、助言者は市教育委員会健康教育課 新井英人課長で、「学校安全ネットワークの構築について」事例発表を行った。

各学校に配置された警備員が全日から半日の体制になったことに伴い、地域安全ネットワークを構築。この過程で地域と保護者の相互理解が進み、固い絆が生まれたことを発表。

参加者から、「子どもたちの安全を自分たちの手で守るためのヒントになりました」との感想が寄せられた。



8月  
26-27日

### 日本PTA全国研究大会 ひろしま大会

参加：各区連合会代表12名

きんさい！みんな！やりんさい！子どもたちの笑顔のために「がんばろう日本！平和な未来へ～ひろしまからの発信～」を大会スローガンに、日Pひろしま大会が広島県全域にて開催。

## 事業報告

## 市P協

## こんな事業や活動を行っています

9月  
15-16日

### 指定都市PTA情報交換会 川崎大会

参加：市P協代表6名

13政令指定都市より105名が参加し、第67回指定都市PTA情報交換会が川崎市にて開催。大会テーマ「子ども・おとな共に生き 共に育む」

10月  
7日

### 交流会

浦和ワシントンホテル  
参加：市教委代表および各校PTA会長160名

市教育委員会の各部署代表との情報交換会。



10月  
29日

### 東日本大震災支援 子どもフェア

大宮区民ふれあいフェアに出席（鐘塚公園）  
参加：市P協理事25名

東日本大震災により震災遺児・孤児となった子どもたちの就学支援を目的に開催。

義援金箱の設置・ポップコーンやわた菓子の販売・ゲームコーナーなど、さまざまな形で協力を呼びかけ、75,163円の義援金が集まった。また、被災地へのメッセージカードを書くコーナーも設け、たくさんの応援メッセージが寄せられた。集まった義援金は、市P協より岩手県・宮城県・福島県へ直接送り、皆さんの想いを届けることができた。

子どもフェアは、被災地支援に加え子どもたちとふれあう素晴らしい機会となり、楽しく充実した活動となった。



11月  
16日

### 役員研修会 人権啓発講演会

さいたま市文化センター  
参加：各校PTA代表約800名

人権標語と人権作文の表彰。ノンフィクション作家の吉永みち子氏の講演「自分らしく生きるために」



1月  
27日

### 懇話会

東品大飯店大宮店  
参加：市P協理事30名

市教育委員会と、土曜チャレンジ・放課後チャレンジ・学校安全ネットワークについての意見交換。



## 自慢の広報紙をコンクールへ

## 募集

PTA広報紙コンクールを開催します。1年分の広報紙を3月23日(金)までに市P協へ送ってください。詳しくは、「開催要項」をご覧ください。

詳しくはホームページ [さいたま市PTA](#) [CLICK](#)

さいたま市内の国立・市立小中高・特別支援学校へ通っている児童・生徒の皆さんの事故を24時間幅広く補償します！

## さいたま市PTA協議会 「児童・生徒ワイド補償制度」加入受付中！

(団体傷害総合保険)

毎年、多くの方々に新規ご加入いただき、現在では約13,000名の生徒の皆様にご加入いただいております

### 補償制度の特長

1. 一般加入と比べて40.15%割引のお得な保険料 (団体割引30%、優良割引5%、大口割引10%適用)
2. 学校管理下・管理外を問わず「24時間補償」
3. 傷害補償は、入院・通院とも「1日目から補償」
4. 日常生活における自転車事故などの「賠償責任補償」
5. 加入児童・生徒の扶養者に万一のことがあった場合の「育英費用補償」
6. SPプラン(今年度新プラン)では、「病気による入院・手術補償」

※本広告には制度の概要のみを記載したものです。ご契約に際してはパンフレットをご参照ください。

当制度のお問い合わせ先・パンフレット請求先

さいたま市PTA協議会「児童・生徒ワイド補償制度」係  
(事務局) さいたま市大宮区大門町3-1 大宮区役所来館1F

取扱代理店: (有)ニュープランニング (担当池田)

〒338-0006 さいたま市中央区八王子5-14-12

【お問い合わせ先】 TEL:048(816)6980 FAX:048(855)5104

### 引受保険会社(株)損害保険ジャパン(幹事会社)

埼玉支店さいたま支社

さいたま市大宮区桜木町4-82-1 TEL 048(648)6063

AIU保険会社 東京海上日動火災保険(株) SJ11-11099 2012年2月3日作成